G2J

冬期講習

解答

Ｚ会東大進学教室

高２東大地理～世界地誌～

1章　アジア地誌①

問題

解答

【1】
問1
〔1〕－3　〔2〕－1　〔3〕－2　〔4〕－3　〔5〕－2　〔6〕－3　〔7〕－1
〔8〕－4
問2
〔9〕－6　〔10〕－5　〔11〕－4　〔12〕－2　〔13〕－4
【2】
問1．(ア)パキスタン，イスラマバード　(イ)ネパール，カトマンズ
(ウ)ブータン，ティンプー　(エ)バングラデシュ，ダッカ
問2．(1)ヒンドゥー教　(2)ヒンディー語
問3．1－バラモン　2－クシャトリア　3－ヴァイシャ　4－シュードラ
問4．米・小麦などの多収量品種の開発・普及を通して，発展途上諸国で食糧増産を実現し，食糧難からの脱却を目指す試み。
問5．酪農協同組合の組織を通して牛乳の生産量を大きく増大させ，国民の栄養状態と農民の所得を大きく改善することになった，インドにおける酪農業の発展。
問6．(a)ムンバイ－②　(b)コルカタ－⑤　(c)デリー－①
問7．BRICs
【3】
(1)　マラッカ海峡の出入り口に位置する交通の要衝で天然の良港にも恵まれたため中継貿易港として発展したが，近年は隣接するマレーシアやインドネシアの工業化も進展したため貿易額が拡大している。(90字)
(2)
①　東南アジア諸国連合（ASEAN）
②　シンガポールの輸出の大部分は工業製品であり，日本との自由貿易協定の締結に際しても農産物による貿易摩擦が起きにくいため，他のアジア諸国より早期に両国の自由貿易協定が締結された。(87字)

解説

【1】
問1．〔1〕．石灰岩が雨水など大気中の二酸化炭素を溶解した水によって溶食されて創出される地形を，カルスト地形と呼ぶ。地表面に創出されたカルスト地形としては，ドリーネと呼ばれるすり鉢状の窪地，ウバーレと呼ばれる隣接したドリーネが連続して大きな窪地に成長したもの，ポリエと呼ばれる盆地状の窪地といった凹地のほか，溶食から取り残された石灰岩によってつくられるピナクルと呼ばれる塔状の石灰岩柱が点在する石塔原（カレンフェルト），

石灰岩の層が高温多雨の気候下で溶食が進んで生じた塔状カルスト（タワーカルスト）が知られている。コイリン（桂林）は，石塔原あるいは塔状カルストの代表例とされる。また，地下に創出されたカルスト地形としては，地下水による溶食によってつくられる鍾乳洞が知られている。山口県西部の秋吉台，北九州の平尾台，スロベニア西部のカルスト地方などは，カルスト地形の発達が良好な場所の代表例である。

〔2〕・〔3〕・〔4〕．中国二大河川として知られる黄河と長江の流路のほぼ中間に相当する場所に，この国を地域区分するうえで極めて重要なチンリン山脈とホワイ川を結ぶ線（チンリン山脈＝ホワイ川線）が位置している。チンリン山脈＝ホワイ川線は年降水量800～1,000㎜の等降水量線とほぼ一致しており，これを境にこの国の東半部の農業地帯は，北の小麦栽培を中心とする畑作農業地帯と，南の米の栽培を中心とする稲作農業地帯に大別される。

〔5〕．WTO（＝World Trade Organization，世界貿易機関）は，1995年にGATT（＝General Agreement on Tariffs and Trade，関税および貿易に関する一般協定）を発展解消させて創設された国際機関で，自由・無差別・多角的な通商体制の構築をおもな目的としている。中国は，2001年12月11日にWTOに加盟した。

〔6〕．まつたけの輸入相手先は，約７割を占める中国のほか，韓国，北朝鮮，北欧諸国（スウェーデン，フィンランド），北米諸国（アメリカ合衆国，カナダ），ブータン，ラオス，トルコ，モロッコなどとなっている。また，ブロッコリーの輸入相手先は，アメリカ合衆国と中国が中心となっている。冷凍野菜の輸入相手先は，約５割を占める中国のほか，アメリカ合衆国，タイなどとなっている。

〔7〕．中国では，台湾の対岸に位置するフーチェン（福建）省のアモイ（シヤメン，厦門），多くの華人・華僑を送出してきたことで知られるコワントン（広東）省のスワトウ（汕頭），ホンコン（香港）に隣接するコワントン省のシェンチェン（深圳），マカオに隣接するコワントン省のチューハイ（珠海）が1979年に経済特区に指定されたのち，1988年にハイナン（海南）島がコワントン省の行政区の１つから省に昇格し，全域が経済特区に指定された。

〔8〕．中国の行政単位には，内モンゴル（内蒙古）自治区，コワンシー＝チョワン族（広西壮族）自治区，チベット（西蔵）自治区，シンチヤン＝ウイグル（新疆維吾爾）自治区，ニンシヤ＝ホイ族（寧夏回族）自治区という５つの少数民族自治区が存在している。なお，Ａはコワンシー＝チョワン族自治区であり，チョワン族が主に居住している。

問２．図に示された６カ国（１～６）は，１がミャンマー，２がタイ，３がラオス，４がカンボジア，５がマレーシア，６がシンガポールである。

〔9〕．シンガポールは，「Little China」と称されることがあることからも明らかなように，国民の76%が中国系（華人・華僑），14%がマレー系，9%がインド系住民で占められる都市国家で，英語，マレー語，中国語，タミル語の４言語を公用語としている。隣国マレーシアは，国民の65%がマレー系と先住民族，26%が中国系（華人・華僑），8%がインド系住民で占められており，マレー語を国語としているので，混同しないように注意したい。

〔10〕．マレーシアは，急速な経済成長を遂げて中進国の一員に数えられるようになっている。かつては，イギリスの植民地時代からの天然ゴムやすず鉱といった一次産品の生産・輸出に依存するモノカルチャー経済をとっていた。しかし，第４代首相に就任したマハティールの指導の下で日本や韓国の集団主義と勤労倫理を導入する「ルックイースト政策」を採用したり，

2020年に先進国入りすることを目指す「ワワサン（「vision」を意味するマレー語）2020」を掲げるなどして工業化を推進し，モノカルチャー経済からの脱却を果たした。近年は，首都クアラルンプールの周辺に「サイバージャヤ」と呼ばれるハイテク工業団地，「プトラジャヤ」と呼ばれる行政都市，クアラルンプール国際空港などからなる「マルチメディア＝スーパーコリドー」という最新のITインフラが整備された総合開発地域を建設するなどして，アジアにおけるIT先進国としての地位を構築するための種々の経済政策を推進している。

〔11〕．カンボジア国内には，ユネスコの世界遺産リストに登録された文化遺産が２つ存在している。その１つが国土の北西部のトンレサップ湖の北に位置するクメール王朝時代の遺跡群（アンコール遺跡）である。もう１つは，タイとの国境に位置するプレアヴィヒア寺院と言うヒンドゥー寺院である。プレアヴィヒア寺院の帰属を巡って，カンボジアとタイの間で長年係争が生じていたが，1962年に国際司法裁判所によりカンボジア領とする決定が下された。しかし，寺院周辺の土地の帰属が未確定であるため，カンボジアとタイの間で今日も衝突が頻発している。

〔12〕．マングローブは，熱帯から亜熱帯地域の汽水域にひろがる塩性湿地に発達する森林のことである。淡水と海水の混ざり合う汽水域は，一般に強い波の生じない遠浅な場所である。このため，砂泥の堆積が行われやすく，マングローブの発達する場所は干潟になる場合が多い。干潟では，有機物が集積・分解されて大量の栄養塩が生産される。このため，非常に生産力の大きい環境が創出されて，多くの生物の活動が見られる。しかし，近年は，東南アジアを筆頭に，世界各地で薪炭材として利用する目的での伐採と，湿地をエビ養殖場とするための開発をおもな要因としてマングローブの破壊が活発化し，地球温暖化に寄与したり，生態系に悪影響をおよぼすなどの問題が誘発されている。

〔13〕．日本の外国人労働者を国籍別にみた場合に上位３位（「外国人雇用状況の届出制度」に基づいて厚生労働省が発表した資料による）となるのは，2008年10月末現在では，総数の486,398人のうち43.3%の約21万人を占める中国，20.4%の約10万人を占めるブラジル，8.3%の約４万人を占めるフィリピンである。また，2010年10月末現在では，総数の649,982人のうち44.2%の約29万人を占める中国，17.9%の約12万人を占めるブラジル，9.5%の約６万人を占めるフィリピンである。

【2】

問１．南アジア諸国と言った場合，一般的には本問で問われている４カ国（(ア)のパキスタン，(イ)のネパール，(ウ)のブータン，(エ)のバングラデシュ）以外に，インド（首都はデリー），スリランカ（首都はスリジャヤワルダナプラコッテ），モルディブ（首都はマレ）の７カ国を指す。しかし，南アジアの福祉の増進と生活水準の向上を図り，経済的な成長，社会の進歩，文化の発展を推進する目的で1985年に創設された南アジア地域協力連合（SAARC = South Asia Association for Regional Cooperation）には，この７カ国に加えて，2007年にアフガニスタンが加盟している。

問２．(1)．南アジア７カ国の宗教は，インドとネパールではヒンドゥー教が優勢，パキスタン，バングラデシュ，モルディブの３カ国ではイスラム教が優勢，スリランカでは仏教（上座部仏教），ブータンでは仏教（チベット仏教）が優勢となっている。

⑵．インドは，ヒンディー語を連邦公用語としている。しかし，インドは言語的に北部のインド＝ヨーロッパ語族のインド語派圏と南部のドラヴィダ語族圏に大きく分かれる多言語国家であるため，インド＝ヨーロッパ語族に含まれるヒンディー語の浸透が，ドラヴィダ語圏で特に遅れている。このため，ヒンディー語圏以外では，タミルナドゥ州のタミル語，ウェストベンガル州のベンガル語など各地方の言語が日常的に用いられている。また，国内でのコミュニケーションの確保の必要から英語が準公用語とされており，国民は概して高い英語能力を有している。

問３．ヒンドゥー教の身分制度であるカースト制度は，アーリア人のインド支配にともなって，紀元前13世紀頃にバラモン教の一部としてヴァルナの枠組みがつくられた。ヴァルナは，基本的に，神聖な職に就いたり，儀式を行うことができ，「司祭」とも翻訳されるバラモン，王や貴族など武力や政治力を持ち，「王族」・「武士」とも翻訳されるクシャトリア，商業や製造業などに就くことができ，「平民」とも翻訳されるヴァイシャ，一般的に人々の嫌がる職業にのみしか就業できず，「奴隷」とも翻訳されるシュードラの４つの身分に分けられる。

問４．緑の革命は，米・小麦などの多収量品種の開発・普及，および化学肥料と農薬の大量投下によって，発展途上諸国で食糧増産を実現し，食糧難からの脱却を目指す試みのことで，1940年代から1960年代にかけて推進された。アメリカ合衆国の民間慈善事業団体のロックフェラー財団が，国際トウモロコシ・コムギ改良センターとその前身や国際稲研究所に資金を提供することで，緑の革命を主導してきた。インドでは，1960～2000年までの間に米の作付面積が1.3倍，小麦の作付面積が２倍となったのに対して，米の収穫量は2.5倍，小麦の収穫量は6.3倍にも達したと言われ，1970年代には食料自給を達成することに成功した。

問５．酪農協同組合の組織を通して牛乳の生産量を大きく増大させて，国民の栄養状態と農民の所得を大きく改善することになったインドにおける酪農業の発展を，白い革命と呼ぶ。また，都市中間層の増加を背景に，1980年代後半から鶏肉を中心に食肉需要が増大し，インドで食肉産業が発展したことをピンクの革命と呼ぶ。

問６．2001年のデータでは，ムンバイ（周辺地域を含む都市的地域）の人口が1,643.4万人，コルカタ（周辺地域を含む都市的地域）の人口が1,321.1万人，デリー（周辺地域を含む都市的地域）の人口が1,287.7万人であった。

問７．近年の経済成長が著しく，世界の経済成長の新しい中心として注目されているブラジル，ロシア，インド，中国の４カ国を，それぞれの頭文字を取ってBRICs（ブリックス）と総称する。

【３】

⑴．シンガポールは，1819年にイギリスの植民地行政官ラッフルズがジョホール王からマレー半島南端に位置する島を買収し，新市を建設した後にイギリスの東南アジア地域における最大の拠点となり，1826年にはペナン島，マラッカ，シンガポールをあわせて海峡植民地とし，1867年には本国の直轄地となった地域である。マレー半島の南端とシンガポールの間にはジョホール海峡があり，島の南側にはビンタン島との間にシンガポール海峡があり，インド洋からマラッカ海峡を経て南シナ海にぬける航路の要衝でもある。さらに島の沿岸部は出入りに富む海岸線が形成され，天然の良港が成立する。このような立地条件によってシンガポールでは

19 世紀から中継貿易（生産物の輸出地と輸入地の間にあり，一般的に商品の陸揚げ・保管・加工などを経た後に再輸出する）を中心に東南アジアの経済拠点となった。第二次世界大戦中は日本が占領したが，戦後再びイギリス植民地となった後，1959 年にイギリスより自治権を獲得しシンガポール自治州となる。1963 年にはマレーシア連邦の一部となるが，1965 年にマレーシア連邦を離脱して独立し，イギリス連邦内の共和国となった。独立後も天然ゴム，すずなどの中継貿易が盛んであったが，積極的な外資導入政策を行いジュロン工業地域を中心に電子・電気工業，石油精製，造船を中心に工業化が進展し，韓国・台湾・ホンコンなどとともにアジア NIEs（新興工業経済地域）と呼ばれている。

本問はシンガポールの貿易依存度を問う出題である。貿易依存度は，輸出（入）額／国内総生産× 100（%）で表される数値であり，一般に経済規模（国内総生産などの規模）の大きい国ほど貿易依存度が低いと言われる。主要国の貿易依存度（2007 年）をみてみると，輸出依存度が日本 16.2%，中国 38.0%，フランス 21.0%，イタリア 23.8%，ドイツ 39.9%，イギリス 15.7%，ロシア 27.3%，アメリカ合衆国 8.5%，メキシコ 26.6%，ブラジル 12.2% となっている。輸入依存度が日本 14.1%，中国 29.8%，フランス 23.9%，イタリア 24.3%，ドイツ 31.8%，イギリス 22.5%，アメリカ 14.7%，メキシコ 27.7%，ブラジル 9.6% となっている。これに対してシンガポールは輸出依存度が 185.5%，輸入依存度が 163.1% となっており他国に比べてかなり貿易依存度が高いことがわかる，同様にホンコンも輸出依存度が 166.4%，輸入依存度が 177.6% とかなり高い数値となっている。

上記の国々のなかでもヨーロッパ諸国は経済規模に対して貿易依存度はほぼ２割を越えていることがわかる。ヨーロッパ諸国は 1960 年代から域内の市場統合を目的に関税障壁を撤廃して，商品，資本，労働力の流動性を高めてきた。その結果，EU 域内の貿易が拡大し，加盟国の貿易依存度も上昇してきたといえる。同様に ASEAN 諸国や NAFTA に加盟するメキシコなどの貿易依存度も上昇している。近年は ASEAN 諸国の中ではマレーシア（輸出依存度 94.3%，輸入依存度 78.6%），タイ（輸出依存度 62.4%，輸入依存度 57.4%），インドネシア（輸出依存度 27.4%，輸入依存度 21.5%）などの貿易依存度が上昇していることにも注目したい。

シンガポールの産業は，前述のように中継貿易を中心に発展し，近年の工業化もあって国内総生産額が上昇しているが，それを上回る貿易金額があるため，輸出入ともに貿易依存度が 100% を越えている。従来は安価で優秀な労働力が多く輸出加工区での関税の優遇措置もとられているため，先進国からコンピュータや半導体メーカーがシンガポールに進出し，先進国との貿易も拡大したが，近年は周辺諸国の工業化も著しいため，マレーシア・タイ・インドネシアとの間に石油化学工業や機械工業の分野を中心に水平分業が進展し，東南アジアの金融センターの役割を持つシンガポールは周辺諸国に対する投融資も拡大しているため，貿易依存度が高くなっている。

⑵．①．ASEAN（東南アジア諸国連合）は，東南アジアの 10 カ国が加盟する地域協力機構であり，1967 年にタイ，インドネシア，マレーシア，シンガポール，フィリピンの 5 カ国が先進国との協力による経済発展と大国の内政への介入排除を目指して設立した。1975 年のインドシナ半島における社会主義国の成立（南北ベトナムの統一）を背景とし，相互連帯の姿勢を積極化し，1976 年にはバリ島で ASEAN 設立以来初の首脳会談を開催し，ASEAN 協和宣言，東南アジア友好協力条約を採択し，中央事務局設置を決め，地域協力機構としての実態

を整えた。1984 年にブルネイ＝ダルサラームが加盟し，冷戦終了後には 1995 年にベトナム，1997 年にミャンマー，ラオス，1999 年にカンボジアが加盟し地域すべての国々の参加が実現した。ASEAN は加盟国の経済発展を背景に国際社会での発言力の強化，地域の安定化と一体化などに大きく貢献し，最も成功した発展途上国の地域協力機構とされる。しかし，加盟国の政治的立場と経済力の双様化に伴い，組織の結束力の低下が懸念されている。

②．一般に自由貿易協定（Free Trade Agreement, FTA）とは，２国間，あるいは多国間で貿易に関する関税，または非関税障壁を撤廃し，自由貿易を促進することを目指す協定のことを指し，北米自由貿易協定（NAFTA）や ASEAN 自由貿易地域（AFTA）などの多国間協定もあれば，日本がここ数年，アジア太平洋地域の国々と進めている２国間協定もある。

設問は，日本が 2002 年にシンガポールとの自由貿易協定（FTA）を発効させた，その背景を考察する問題である。なぜ日本は他の ASEAN 諸国より早期にシンガポールとの FTA を締結したのかを，シンガポールの貿易特性を考慮した上での解答が求められている。

シンガポールの貿易を見てみると（総計は 2007 年），輸出金額は 2993 億ドルで，輸出品目の上位は電気機械（45.2％），石油製品（13.3%），一般機械（7.1％），化学薬品（4.4%），精密機械（2.5%）で，輸出相手国の上位はマレーシア（12.9%），ホンコン（10.5%），インドネシア（9.8%），中国（9.7%），アメリカ合衆国（8.9%）となっている。輸入金額は 2632 億ドルで，輸入品目の上位は電気機械（38.0%），石油製品（11.4%），一般機械（9.6%），原油（8.5%），精密機械（3.3%）で，輸入相手国の上位はマレーシア（13.1%），アメリカ合衆国（12.4%），中国（12.1%），日本（8.2%），インドネシア（5.6%）となっている。シンガポールの貿易構造の特徴は一次産品を輸入して製品を輸出する加工貿易と，中継貿易であることをこれらの輸出入の品目からも推測することができよう。また日本の対シンガポール貿易（統計は 2008 年）を見てみると，シンガポールへの輸出金額は２兆 7576 億円で，輸出品目の上位は機械類（40.4％），石油製品（14.4％），船舶（5.9％），鉄鋼（4.7％），自動車（4.4％）である。シンガポールからの輸入金額は 8166 億円で，輸入品目の上位は機械類（39.8％），石油製品（14.9％），プラスチック（4.4％），科学光学機器（4.1％），有機化合物（3.7％）となっており，シンガポール，日本ともに加工品の輸出入が貿易の中心となっていることがわかる。日本は発展途上国との間に FTA を締結する際には農産物の取り扱いが障害になりやすいために，農林水産省では農業技術協力などを含む経済連携協定（Economic Partnership Agreement, EPA）の締結を重視している。シンガポールは ASEAN 諸国の中では最も工業化が進展しており，他の国との FTA の締結に関して障害となる農産物などの一次産品の輸出がないため，日本にとっても協定が結びやすい相手国であると言えよう。また日本はシンガポールとの工業製品の輸出入を拡大させることで，部品を日本から供給し現地での組み立てを進め，シンガポールから周辺諸国や日本などに製品を輸出させることも可能となる。この際には，日本はシンガポールの低賃金労働力がメリットとなり，また周辺諸国も日本から直接製品を輸入するよりもシンガポールで組み立てられた製品を輸入するほうが製造コストや通貨レートの点から見ても有利になる。このように日本はシンガポールと FTA を締結させることによって両国間での水平分業を進行させることができ，他の ASEAN 諸国への輸出もシンガポールを通して非課税での輸出が可能となり，貿易の拡大を望めるためにシンガポールとの FTA を早期に締結させたと言えよう。

2章　アジア地誌②

問題

解答

【1】
問１－②　問２－③　問３－②　問４－④　問５－④　問６－④　問７－①
問８－①　問９－③　問 10 －④　問 11　A －①　B －④
【2】
国名　A－キプロス　B－イスラエル　C－イラン　D－トルコ
E－サウジアラビア　F－レバノン　G－イラク　H－イエメン
問　(1)　ア－ギリシャ　イ－シーア　ウ・エ－ティグリス・ユーフラテス
(2)　ボスポラス海峡
(3)　物資の流動：産油国は原油・石油製品を輸出し，日本・アジア NIEs から自動車・機械類を，他の国からは食料品・衣類などを輸入している。(59 字)
労働力の流動：産油国の建設・家事労働力としてアラブ人に代わり南アジア・東南アジアからの出稼ぎ労働力が石油危機以降に大量に流入した。(58 字)
【3】
問１．１－アクラ　２－高原大陸　３－コンゴ　４－ニジェール
５－アフリカ連合（AU）　６－アグロフォレストリー
７－クロム（バナジウム，プラチナ（白金）など）　８－カッパーベルト
問２．(a)－B　(b)－E　問３．(ア)－V　(イ)－３
問４．(ウ)－G　(エ)－K　問５．P

解説

【1】
Aはトルコ，Bはイスラエル，Cはイラン，Dはアルジェリアについて述べた文である。

問１・問２．ボスポラス海峡は，トルコの国土をヨーロッパ部分とアジア部分に分ける海峡である。北は黒海，南はマルマラ海で，両岸の全域は旧首都であるイスタンブール市の行政区内となっている。トルコは，NATO（北大西洋条約機構）に加盟し，EU（ヨーロッパ連合）への加盟を申請していることからも明らかなように，国際的にはヨーロッパの一員として取り扱われることもある。しかし，1982 年に定められた現行のトルコ憲法で政教分離を掲げた世俗主義が標榜されているにもかかわらず，国土の 95% がアナトリア半島に位置しているうえ，国民の約 97% がイスラム教を信仰し，アルタイ語族のテュルク語系のトルコ語を公用語としていることなどを根拠として，この考えに消極的な主張も根強い。

問３・問４．世界中に離散していたユダヤ人のあいだでは，ヨーロッパにおけるユダヤ人に対する差別や虐殺などを背景に，出自の地であるエルサレムを中心とするパレスチナ地域に民族国家の建設を求めるシオニズム（祖国復帰）が台頭した。1917 年にイギリスがバルフォア宣言によってユダヤ人の民族国家建設を容認する態度を示したことを契機として，パレスチナ

へのユダヤ人の移住が増加し，1948 年にイスラエルが建国された。この過程で，この地に居住していたアラブ人（パレスチナ人）が居住地を奪われ難民化し，今日まで続く中東紛争が引き起こされることになった。1993 年にイスラエルとパレスチナ解放機構（PLO）の間でイスラエルを国家として，PLO をパレスチナの自治政府として相互に承認することと，イスラエルが入植した地域から暫定的に撤退することをおもな同意事項とするオスロ合意が成立し，1994 年にパレスチナ自治政府が設立された。パレスチナ自治政府の発足当初は，PLO の主流派で，アラファトの率いる対イスラエル穏健派のファタハが政権運営を行っていたが，徐々に支持を失い，2006 年の第 2 回総選挙で強硬派のハマスが第 1 党となった。この結果，パレスチナ自治政府は，ハマスが実効支配するガザ地区とファタハが実効支配するヨルダン川西岸地区に分裂することになっている。

問 5．イランは，ペルシア語を話すペルシア人が総人口の 51% を占めている。イスラム教国であるために，アラビア語を話すアラブ人が優勢なアラブ世界と混同する受験生が散見されるが，イランは非アラブ世界なので注意したい。

問 6．エジプト，リビア，チュニジア，アルジェリア，モロッコの北アフリカ 5 カ国は，エジプトがイギリス，リビアがイタリア，チュニジア・アルジェリア・モロッコがフランスの植民地であった。

問 7．クルド人は，トルコ東部，イラク北部，イラン西部といった中東諸国の国境地帯にひろがるクルディスタンと呼ばれる地域に居住する，独自の国家を持たない民族集団である。中東地域では，アラブ人，トルコ人，ペルシア（イラン）人に次いで人口数が多い民族集団でもある。

問 8．イスラエルは，標高 800m 前後の丘陵上に位置するエルサレムを自国の首都と主張しているが，国連を筆頭に多くの国家はこの主張を容認していない。これは，この都市がイスラム教，キリスト教，ユダヤ教の聖地であることが背景となっている。イスラム教にとっては，エルサレムはムハンマドが一夜のうちに昇天する旅を体験した場所とされ，ムハンマドが昇天したとされる場所にはウマイヤ朝時代に岩のドームが築かれたうえ，丘の上にはアルアクサーモスクが建設されている。また，キリスト教にとっては，エルサレムはイエス・キリストが教えを述べ，そして処刑され，埋葬され，復活したとされる場所とされ，それらの場所には聖墳墓教会をはじめとする教会が建てられている。さらに，ユダヤ教にとっては，エルサレムはその信仰を集めていたエルサレム神殿が置かれていた聖地であるうえ，ユダ王国の首都でもあった場所で，嘆きの壁に代表される神聖な場所が残っている。現在，エルサレムはユダヤ人居住区の西エルサレムと，アラブ人居住区の東エルサレムに分断されている。

問 9．山麓の扇状地などにおける地下水を水源とし，蒸発を防ぐために地下に水路を設けたものを，イランではカナートと呼ぶ。カナートは，周辺地域へ伝播し，アフガニスタン・パキスタンなどではカレーズ，北アフリカではフォガラ，中国の西部ではカンアルチン（坎児井，カナルチンやカンチンと呼ばれることもある）と称される。長いものは数十 km に達し，水路が地表に出る場所にはオアシスが形成され，小麦，ナツメヤシ，綿花などの栽培が行われる。

問 10．マグリブ（マグレブ）は，アラビア語で「日が没すること，没するところ」と言う意味で，「西方」を意味する地域名としても用いられる。地域名としてのマグリブは，モロッコ，アルジェリア，チュニジアを中心とするアフリカ北西部に位置するアラブ諸国を指す。

問 11．図の①はトルコ，②はシリア，③はレバノン，④はイスラエル，⑤はエジプト，⑥はヨルダン，⑦はサウジアラビア，⑧はクウェート，⑨はイラク，⓪はイランの国土を示している。

【2】

問⑴・⑵．ＡからＨまでの国名の判定は，各国の説明文の中において，その国を表す民族名・宗教・資源・歴史・国際関係などを注意して読みとれば解答は容易である。

Ａは，「西アジアには数少ない島国の１つである」「トルコ系住民」から判断し，キプロスである。西アジアの島国は，キプロスとバーレーンの２カ国だけである。キプロスの民族は，南部はギリシャ系が 80.6％，トルコ系が 11.1％（2001 年），北部はトルコ系 98.3％（1996 年）と南北でかなり異なる民族構成となっている。両民族は宗教的・民族的にも異なることから，1960 年の独立以来対立が絶えない。1974 年のギリシア軍が介入したクーデターによりトルコ軍が侵攻し，キプロス島の国土の 37％にあたる北部がトルコ系住民により支配された。また，1983 年にはトルコ系住民が北部を「北キプロス＝トルコ共和国」として一方的に独立宣言を採択し，ギリシャ系住民との対立を深めている。

Ｂは，「世界各地からの移住者を加えて建国」から判断し，イスラエルである。イスラエルは，第二次世界大戦後の 1948 年，シオニズム運動（古代のユダヤ王国にあったシオンの丘に帰り，ユダヤ人の国家を建設する運動）により世界各地のユダヤ人を集めて建国された国である。

Ｃは，「イスラム革命」から判断し，イランである。イランは，1979 年にイスラム教シーア派（イスラム教のスンニ派と対立する２大宗派のひとつ。信徒はイスラム教徒全体の約 10％を占め，少数派である。イラン以外では，アゼルバイジャン，バーレーン，イラク，レバノンに信徒が多い）の最高指導者のホメイニ師を中心に展開されたイスラム革命によりパーレビ国王を追放し，イラン・イスラム共和国となった。

Ｄは，「アジアとヨーロッパの両方にまたがる」から判断し，トルコである。トルコは，北は黒海，南は地中海に面し，黒海とエーゲ海とを結ぶ狭い海域に，ボスポラス海峡，マルマラ海，ダーダネルス海峡があり，その一部がヨーロッパに入る国家である。トルコの首位都市（国内人口最大の都市）であるイスタンブール（人口 1075.7 万人：2007 年）が面している海峡なので，⑵の解答は，ボスポラス海峡となる。なお，首都アンカラの人口は同国第２位（376.3 万人：2007 年）である。

Ｅは，「西アジアでは最大の面積」から判断し，サウジアラビアである。同国の面積は 215 万㎢であり，アジアでは中国，インド，カザフスタンに次ぎ第４位である。なお，西アジアで人口最大の国はイラン（7479.9 万人：2011 年）である。

Ｆは，「地中海に面し」「中継貿易地」「キリスト教徒とイスラム教徒との間の内戦」などから判断し，レバノンである。レバノンの首都ベイルートは，イスラエルの侵攻および内戦以前の平和な時代には，ヨーロッパからの観光客も多く，中継貿易も盛んであり，「中東のパリ」とよばれた。

Ｇは，「世界四大文明発祥地の１つ」から判断し，イラクである。文中の「国際的な立場」とは，1991 年の湾岸戦争の当事国としての経済制裁が国連により課せられたことを指す。なお，（ウ）・（エ）は，この地のメソポタミア文明から考え，ティグリス川とユーフラテス川である。この両河川は，バスラ北方のクルナ付近で合流し，ペルシャ湾までシャトルアラブ川となって

流れる。したがって，イラクで唯一の貿易港は外洋船の入れるバスラであるが，イラン・イラク戦争および湾岸戦争の戦禍により，現在ではほとんど港としては機能していない。

Hは，「西アジア最南端に位置する」から判断し，イエメンである。紅海に面するモカは，世界で最初にコーヒー豆が栽培された都市といわれており，今でもモカコーヒーとして輸出されている。

⑶. 物資の流動とは，国家間の物流であり，貿易を考えればよい。西アジアの産油国は，1950～60年代の石油開発以前は，ベドウィン族の遊牧が主体の地域であり，国境も実体としては不明確な所が未だに多い地域である。原油の開発利権および輸出によるドルの流入が大きいため，税金の免除や医療費が無料の国もあり，産業は観光以外にはほとんどない。したがって，必要な耐久消費財（機械類，自動車，航空機など）や消費財（食料品，衣類，医薬品など）の大半は，輸入に依存している。

設問では，アジアとの貿易を問うている。日本やアジアNIEs（韓国，台湾，シンガポール，ホンコン）などからは高付加価値の工業製品である自動車，機械類，鉄鋼など，その他の途上国からは軽工業製品である衣類，繊維品，食料品などを輸入しており，解答の際には輸入相手国別に製品をわけて答える点がポイントになる。

西アジアの産油国は，①人口の不均衡（砂漠気候の地域が多いために生活地域が限定される），②労働力率が低い（識字率が低く，女性労働力が少ない），③教育水準が低い（高等教育への進学率が低く，技術者が不足している），などの理由により労働力人口の少ない国が多い。しかし，1973年のオイルショックを契機に石油マネーであるドルが大量に入ってきたため，西アジアの石油輸出国においてはそれまで未整備であったインフラの整備が進められ，港湾・空港・道路・住宅などの建設ラッシュが始まった。しかし，西アジアの石油輸出国では，特に建設・看護・家事などに従事する労働者などが著しく不足していたため，近隣のアジア諸国であるパキスタン，インド，スリランカ，バングラデシュなどの南アジア，タイ，フィリピン，インドネシアなどの東南アジアの国々から積極的に出稼ぎ労働者を受け入れた。

また，南アジアや東南アジアの労働力の送り出し国にとっては，国内の失業者対策にもなり，出稼ぎ労働者のドル送金が経常収支の赤字補填にもなることから，積極的に出稼ぎ労働者を支援する政策をとった。

西アジアの石油輸出国は，①単純労働力，②勤勉，③キャンプ地での隔離生活，といったことを条件に労働者を受け入れたが，その後西アジアの石油輸出国での建設ラッシュが一段落してくると，外国人労働者による犯罪やトラブルが多発し，労働力も過剰状態に陥った。しかし，1985年に円高がおこると，これら過剰労働力の一部は高賃金の日本に向かい，やがて始まった日本のバブル経済における絶対的労働力不足や３Ｋ（危険，きつい，汚い仕事の頭文字のＫをとって表現した言葉）の労働力不足などにより吸収されていった。

【3】

問1．1．本初子午線は，ロンドンのほか，スペイン地中海岸のバレンシアやガーナの首都アクラ付近を通過する。

2．アフリカ大陸は，平均高度が750mで，その86.6%が標高200～2,000mのアフリカ卓状地と呼ばれる地形域で占められる高原状の大陸となっている。

3．コンゴ盆地は，アフリカ大陸中央部の赤道直下に位置している。東部にはアフリカ大地溝帯に創出された火山群と，タンガニーカ湖に代表される細長い形状を呈する地溝湖が出現している。

4．ニジェール川は，ギニアの山地から北東に流れてマリに入り，南東に転じてニジェール，ナイジェリアを流れてギニア湾に注ぐ大河で，河口部に大規模なデルタ地帯を形成している。サヘル地帯を貫流しており，中流域に位置するマリやニジェールにおいては重要な水資源の供給源となっている。また，河口部のデルタ地帯は，今日アフリカ最大の産油国となっているナイジェリアの経済を支える産油地帯となっている。

5．アフリカ連合（AU = African Union）は，ヨーロッパ連合（EU）をモデルとしてアフリカ統一機構（OAU = Organization of African Unity）を発展・改組し，2002年に発足した地域統合体である。本部はエチオピアのアディスアベバに置かれており，アフリカの高度な政治的・経済的統合の実現と，紛争の予防・解決への取組の強化を主目的としている。モロッコを除くアフリカの全ての独立国家が加盟しており，加盟国は53カ国と西サハラ（サハラ＝アラブ民主共和国）となっている。

6．アグロフォレストリーは，樹木を植栽し，樹間で家畜・農作物を飼育・栽培する農林業で，土壌流出の抑制や家畜の排泄物の土壌への還元などを通してより持続可能な土地利用を実現することや，生物多様性を維持することなどが可能となる。今日，アグロフォレストリーは，天然資源の管理と貧困の緩和を実現する手段として期待されている。

7．南アフリカ共和国は，中国とともにレアメタル（希少金属）の重要な産地となっている。なかでも，クロム，バナジウム，プラチナ（白金）は世界最大の産出量を誇っている（2008年）。

8．カッパーベルト（コッパーベルト）は，アフリカ大陸南部のザンビア中部からコンゴ民主共和国南部にかけて広がる銅山地帯である。銅生産の副産物であるコバルトの産出も多く，ザンビアとコンゴ民主共和国の2国で，世界生産量の約50%が占められている（2008年）。

問2．(a)．エジプトとスーダンの国境が北緯22度線を利用する数理的国境となっていることに注目すれば，容易に判断できる。

(b)．アフリカ大陸の面積は3,032万㎢である。また，日本の面積は約38万㎢である。

問3．(ア)．ドラケンスバーグ山脈は，アフリカ大陸南部に位置する古期造山帯山脈で，一帯はトランスバール炭田に代表される産炭地帯となっている。

(イ)．タンザニア北東部に位置するキリマンジャロ山（スワヒリ語で「山」を意味する「キリマ（kilima）」と，チャガ語で「白さ」を意味する「ンジャロ（njaro）」で，「白く輝く山」を意味すると言われている）は，標高5,895mのアフリカ大陸最高峰で，成層火山である。赤道付近に位置しているにもかかわらず，山頂部には巨大な氷河が存在していたが，近年は気候変動の影響で規模が極端に縮小している。1987年に，一帯がユネスコの世界遺産に登録された。

問4．(ウ)．アフリカ大陸で第二次世界大戦前から独立を達成していた国は，エチオピア，リ

ベリア，南アフリカ共和国，エジプトの４カ国であった。

㈥．アンゴラとモザンビークはポルトガル植民地であったため，ブラジルなどとともにポルトガル本国以外でポルトガル語を公用語としている国となっている。

問５．今日，アフリカ最大の産油国となっているのは，ギニア湾岸に位置するナイジェリアである。国土の南東部のニジェール川デルタに産油地帯が分布しており，独立後間もない1967 ～ 1970 年には，この地域に居住するイボ族を主体としてナイジェリアからの分離・独立が画策された結果，ビアフラ戦争（ナイジェリア内戦）が引き起こされた。